



だん＊いち

学校だより
令和7年 12月24日
No. 10
岩見沢市立第一小学校
22-0360

校訓 あたたかき心の持ち主たれ

今年の漢字

第一小 2025



本日の2学期終業式をもって、2025年の全登校日を終了いたしました。保護者・地域の皆様におかれましては、夏休み明けの熱中症対策、各種学年行事（修学旅行、社会見学、音楽発表会）、マラソン記録会、学芸会、参観日、PTA諸活動、地域ボランティア活動、地域の皆様による子どもたちへの多種多様な活動機会の提供など、多大なるご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

社会の変化予測が難しく、また、価値観の多様化、個の尊厳・尊重、低年齢層への情報化社会の拡大への対応など、子どもたちへの教育は学校だけではなく、保護者・地域の皆様のお力添えがあってこそ成り立つものと変化しております。

2025年、第一小の子どもたちが、「友だち」「授業」「行事」の重なりの中で、日々、少しずつ成長していくことができているのは、子どもたち1人1人のがんばりはもちろんですが、保護者の皆様・鉄北地区の皆様の「励まし」「支え」「働きかけ」などのお力添えがあってこそと、強く感じております。重ねてになりますが、本当にありがとうございました。



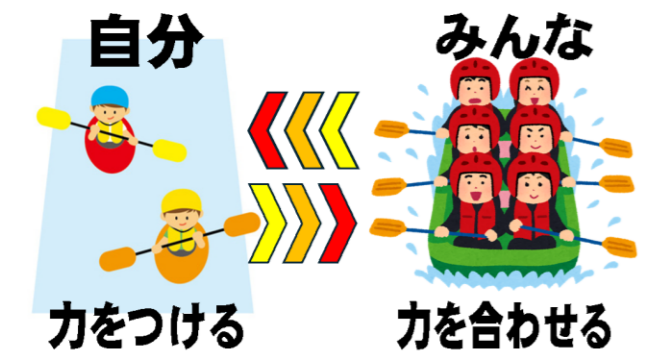
先日、今年の漢字一文字（「熊」）が発表され、いくつかのクラスでも、1人1人が自分の漢字一文字を考えてくれていました。



勝手ながら、私が考える第一小の2025年漢字一文字は「**想**（そう、おも-う）」です。

普段使う「思う」は、心の中で考えること全般を指しますが、「**想う**」は、**心の中で感じること、特定の対象への強い感情を表す**ときに使います。例えば、愛情、懐かしさ、憧れなど、**心に響く感情を表現**しています。「**想**」という漢字をよくみると、「**相手**」と「**心**」が**合わさっている**ようにもみえます。

2025年の子どもたちの様子からは、「自分だけ」の思いから、「**友だちの見えにくいがんばりに気づき、声を掛け合う行動（は-とプラス1）**」が多くみられるようになってきました。



表現が正しいかどうかは分かりませんが、一人での川下りでも、みんなでの川下りでも、時と場合に応じて、どちらでも選択でき、どちらでも力を発揮できるようなことが求められる時代に、**想いをもって互いを尊重し合う**ことを大切にして、新年を迎えたいと考えております。 校長 石原 学

= 御存知ですか？「特別支援教育」 =

今日で2学期が終わりました。お子さんの2学期の学習や生活を振り返り、何か気になることはありませんか？例えば、学校生活を送るうえで次のような思いを抱えている子どもたちがいます。

- 「読む」ことに時間がかかる。一文字ずつ読んでしまう。
- 「書く」ことに時間がかかる。線に沿って書こうとしてもはみ出してしまう。
- 「計算」が苦手。桁の多い計算はどこまでやったかわからなくなる。
- じっとしてられない。すぐ集中が途切れてしまう。音に敏感。
- 人の気持ちを読み取ったり、場面を考えて行動したりすることが苦手で、友達とうまく関われずトラブルになる。



上記のようなことは、多かれ少なかれ誰にでも当てはまることだと思います。しかし、このようなことが頻繁にあったり、何度も同じことで注意されていたりする子どもは、本人の意思や努力不足ではなく、自分の力ではどうにもならない状況なのかもしれません。

そうした本人の「困り感」を少しでも取り除き、楽しく学校生活を送るために、「①みんな（本人・保護者・学校・医療機関・専門機関）で考え、②具体的な指導（学習や生活）計画を立て、③必要なサポートをしましょう。」というのが特別支援教育の考え方です。

特別支援教育は、すべての子どもを対象にした教育です。「特別扱い」ではなく、「子どもの困り感を減少させるための支援を行う」というものです。視力が弱ければめがねをかけるように、その人が安心して学ぶことができるために必要な支援を行うことです。

学習、生活、人との関わり方について、サポートを必要としている多くのお子さんがいます。第一小学校でも、一人一人の発達や教育的ニーズに応じ、全ての子どもが共に学べるよう「合理的配慮」を行っています。こうした支援が特別なものでなく受け入れられる学校や社会を子ども、保護者、地域の皆様と一緒に目指していきたいです。今後とも、子どもたちの健やかな成長のためご理解とご協力をお願いします。子ども一人一人に合った継続的なサポートを共に行い将来の自立を目指していきましょう。また、同様の相談は、岩見沢市教育支援センター（電話0126-35-5161であえーる岩見沢4階）でも可能です。 【特別支援教育コーディネーター 神田妙子】

= 地域で学び 地域と学ぶ 第一小 11月～12月 =

<p>つどう楽しさ</p> <p>11/27 2・4年生 PTA朝7/コンサート 市内在住のピアニストの木村麻里江さん、木村友梨香さんにお越しいただきました。最後は、お二人の演奏で「ツバメ」を歌い、音楽で心を癒やすひとときとなりました。</p>	<p>わかる楽しさ</p> <p>11/28 4年生 防災教室 市災害対策課の皆様のご協力をいただき、避難所設営体験や非常食体験を行いました。段ボールベットや簡易トイレを組み立てるなど「共助」の体験をしました。</p>	<p>つどう楽しさ</p> <p>11/26 2年生 幼保小交流おもちゃ大会 2年生がなかよし保育園と緑保育園、めぐみ幼稚園の年長児を招待し、生活科で作ったおもちゃやゲームで楽しませました。やさしく教える姿に2年生の成長を感じました。</p>
<p>つどう楽しさ</p> <p>11/28 1年生 サツマイモ収穫祭 4月学校前の見守りでお世話になった緑町内会の皆様と交通指導員さんをお招きし、1年生が育てたサツマイモと一緒に食べ、歌やクイズと一緒に楽しみました。</p>	<p>つどう楽しさ</p> <p>12/13 スクールバンド定期演奏会 円熟した演奏で一年間の集大成となる一日でした。2ndステージでは北海道教育大学岩見沢校の学生二人がフルートとクラリネットのデュオを披露してくださいました。</p>	<p>いども楽しさ</p> <p>12/1 5年1組 跳び箱の授業 北海道教育大学岩見沢校の小倉晃布准教授から跳び箱の指導を受けました。詳しくは下の岩見沢市教育研究所HPからご覧いただけます。 →https://ie-labo.jpn.org/</p>



= いじめ防止・薬物乱用防止について学ぶ =



6年生【薬物乱用防止教室】講師：岩見沢はまなすライオンズクラブ 様
 6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。水島薬局の水島教之様を講師としてお迎えし、薬物が心身の健康や将来に及ぼす影響について、わかりやすくお話いただきました。薬物乱用が決して他人事ではなく、身近な問題であることを知り、「誘われてもはっきり断ることの大切さ」や「自分の命と未来を守る判断力」の重要性について、真剣に考える機会となりました。



5年生【いじめ防止教室】講師：北海道教育大学札幌校 平野直己 様
 5年生は、講師の平野先生から、「いじめは何から始まるか」「いじめる側の気持ち」について学びました。いじめは、いじめたいという気持ちから始まることや、いじめる側の心の中にも不安や弱さがあることを教えていただきました。また、「いじめられていい理由などない」「相談することは恥ずかしいことではない」という強いメッセージも伝えられました。子ども達は自分の言動を振り返り、いじめについて改めて考えを深める様子が見られました。

= 話し合いを大切にする関わり～メディエーション =



学校では、子ども同士の行き違いやトラブルが起きた際、すぐに「どちらが悪いか」を決めるのではなく、**それぞれの想いを聞き合い、納得できる解決を目指す**ことを大切にしています。**相手の話を聞くこと、自分の想いを伝えること**を大切にしながら、教員が間に入って話し合いを支える関わりを行います。この気持ちや考えを整理しながら話し合いを進める方法を「メディエーション（仲立ちによる話し合い）」といい、岩見沢市が進めている岩見沢型ピア・サポートの手法です。叱る・裁くことが目的ではなく、「**どうすれば次に進めるか**」を一緒に考えるかわりです。子どもたちが自分の想いを言葉にし、相手の考えを知る経験は、将来、社会の中で人と関わっていく力につながっていくと考えています。【養護教諭 遠藤郁・教頭 箕田裕】

= 児童会 赤い羽根共同募金 ありがとうございました =

12/15(月)～19(金)までの5日間で13,970円の善意が集まり、12月22日に、岩見沢社会福祉協議会様にお渡ししました。ご協力ありがとうございました。

= お知らせ =

= 児童の活躍 =

※ 学校教育の一環として取り組んだものを掲載しています

- ★ よい歯のコンクール 6年
 - 優秀賞 小森 景護さん 永浦紗希さん 根本凜太朗さん 二口善心さん
 - 大西莉緒菜さん 桑原凌哉さん 笹井李音さん 平賀徠杏さん
 - 松井 杏奈さん
- ★ 市読書感想文コンクール
 - 銀賞 1年 上山陽瑞さん 銅賞 2年 高沢 董さん
- ★ 税の標語
 - 努力賞 6年 杉本ゆずはさん

= 学校閉庁日について =

★ 冬季休業中の業務対応について（学校閉庁日・対応時間等）
 「岩見沢市立学校における働き方改革行動計画」に基づき、本校も閉庁日を以下のとおり設定しております。皆様の御協力をお願いいたします。

閉庁期間《 令和7年12月27日(土)～令和8年1月4日(日) 》

上記期間中の電話は、メッセージによる留守番電話(録音機能なし)となります。お子様に関して緊急の連絡を要する場合は「まるわかり第一小」の右下にあるメールアドレスで、管理職員まで御連絡ください。
 なお、冬季休業中の**学校業務対応時間は 8時00分 から 16時30分 まで**です。

日	曜	1 月 学 校 行 事 予 定	R07(2025).12.24 現在
1	木	元日 年始休暇(学校閉庁日)	17 土
2	金	年始休暇(学校閉庁日)	18 日
3	土	(学校閉庁日)	19 月 B3 学期始業式 特別方面別下校 読書週間
4	日	(学校閉庁日)	20 火
5	月	スキー研修会 教頭会グループ研修	21 水 B スキー学習 6年①
6	火	ピア・サポート研修会・学校運営研修会	22 木 スキー学習 5年① F
7	水	ピア・サポート研修会	23 金 スキー学習 4年①
8	木	ピア・サポート研修会	24 土
9	金	定時退勤日 スキー研修会 ICT研修会	25 日
10	土		26 月 B 新年度計画会議
11	日		27 火 スキー学習 3年① 諸費振替日 SC 来校日
12	月	成人の日	28 水 B 学打ち
13	火	特別支援教育研修会	29 木 スキー学習 6年② F PTA ベルマーク集計(1・3・5年)
14	水		30 金 スキー学習 5年② 生徒指導会議
15	木		31 土
16	金	職員会議 研修日 学打 定時退勤日 安全点検日	



※ 変更する場合がありますので、直近の学年日より等でお確かめください。

※ 事故防止のため、朝は 8:00～8:15 (カギが開くのは 8:00) での登校をお願いします。



第二小だより

1月の生活目標
「廊下や階段は静かに
みぎがわ ある
右側を歩こう」

令和7年12月24日 岩見沢市立第二小学校



みんなで育つ学校をめざして

校長 和田 知子

日に日に寒さが増し、師走の訪れを感じる頃となりました。今年も残すところあと1週間となり、本日12月24日をもちまして2学期が終了しました。子どもたちは、学習や運動、日々の生活に精一杯取り組み、84日間の充実した学校生活を送ることができました。

また、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の流行が心配される中、学級閉鎖などもなく2学期を終えられたのは、保護者の皆様が日頃から体調管理にご協力くださったおかげです。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、2学期も「安心・安全」をキーワードに教育活動を進めてきました。子どもたちは、さまざまな行事や日々の学習活動を通して大きく成長しました。特に今学期は、月1回の異学年朝ピア、個別探究のゼミ活動、たてわり班清掃など、異学年交流の取り組みを大切にしてきました。

「異学年交流」というと、「上学年が下学年の面倒を見る」というイメージを持たれがちですが、それだけではありません。上学年にとっては、自分の行動を振り返り、リーダーシップや思いやりを育む機会となります。一方、下学年は上学年の姿を見て、「自分も高学年になったら同じようにしたい」という気持ちを育むことができます。

また、担任だけではなく多くの先生が子どもたちに関わり、「みんなで子どもたちを育てる」という意識を大切にしています。「いろいろな先生が見てくれている」「担任以外の先生にも相談できる」という校内体制は、子どもたちの安心にもつながっています。今後も、異学年交流や学校全体としての取り組みを大切にしながら、全職員で子どもたち一人一人の成長を支えていきます。

明日から25日間の「冬休み」に入ります。子どもたちは、家族や親せきの方々と過ごす時間を楽しみにしています。ぜひ、家族の団らんのひとときを大切にしながら、自主的・計画的に学習に取り組んだり、普段はできないことに挑戦したりして、心に残る充実した冬休みを過ごしてほしいと願っています。

最後になりましたが、2学期も保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に多大なるご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。令和8年もどうぞよろしくお願いいたします。



赤い羽根共同募金の活動を行いました

12月1日(月)～5日(金)の期間、『赤い羽根共同募金』の活動を行いました。毎朝8時～8時15分の間、児童会書記局の児童が児童玄関に立ち、募金の呼びかけをしました。

多くのご家庭のご協力により、8,194円の募金が集まりました。集まった募金は、10日(水)に児童会会長から社会福祉協議会の方へ手渡しました。

募金活動へのご協力ありがとうございました。



親子レクへのご協力ありがとうございました

12月3日(水)に、6年生の親子レクを行いました。これで今年度の全学年の親子レクが終了しました。

親子レクの内容は、

- 1年生は、伝言ゲーム、お玉リレー、給食試食会
- 2年生は、紙飛行機対決、親子対抗しっぽ取りゲーム
- 3年生は、給食試食会、バルシューレ
- 4年生は、バルシューレ
- 5年生は、バルシューレ、しっぽ取り、給食試食会
- 6年生は、クリスマスリースづくり
- 2組・3組は、調理、手形メッセージづくり

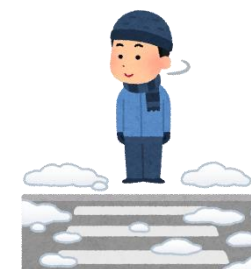
各学年の学年委員の皆様におかれましては、レクの準備や進行などにご協力をいただき、ありがとうございました。参加された保護者の皆様もありがとうございました。



『安全マップ』をご確認ください

先日、冬期間の『通学路安全マップ』を配付しました。これから本格的な降雪時期に入りますので、今まで以上に登下校中の事故に注意が必要になります。

安全マップには、危険箇所が記されていますので、ご家庭でもお子さんと一緒にご確認ください。





明日から冬休みです



明日からの冬休みを楽しみにしているお子さんが多いと思います。事故や怪我等には十分に気をつけて、楽しく充実した冬休みを過ごしてほしいと思います。インフルエンザ等の感染症にもお気をつけください。3学期におきましても、発熱や咳、体調不良の場合は無理に登校させず、体調の回復を優先させてくださるようお願いいたします。

《学校閉庁日》

12月29日(月)～1月4日(日)の期間は、学校閉庁日となり、留守番電話対応(録音機能はありません)となります。お休み中に報告が必要になった場合は、緊急連絡用メールにご連絡ください。

[【dainis@edu.hamanasu.com】](mailto:dainis@edu.hamanasu.com)

《お願い》

○旅行等に行くご家庭もあることと思います。学級の全員へのお土産(お菓子)につきましても、アレルギーの心配もあることから、ご遠慮くださるようお願いいたします。


○「岩見沢市青少年センターだより」冬休み号を配付しています。冬休み中の生活のきまりや外出時の注意点などが書かれています。お子さんが安全に生活できるようご家庭での協力をお願いいたします。

○3学期に向けて、学習用具の準備をお願いいたします。学校では、学習に必要なものは持ってこないという指導をしております。お子さんの持ち物のご確認もあわせてお願いいたします。

相談窓口のご案内

- 子ども相談支援センター(24時間子供SOSダイヤル) 0120-3882-56
- 児童相談所虐待対応ダイヤル 189(いちはやく)
- 少年サポートセンター(少年相談110番) 0120-677-110
- 子どもの人権110番 0120-007-110
- チャイルドラインほっかいどう 0120-99-7777
- こころの電話相談 0570-064-556
- 北海道いのちの電話(24時間対応) 011-231-4343



○親子のための相談LINE  岩見沢市の教育支援センター(0126-35-5161)も相談窓口となっておりますので、心配なことがございましたらご相談ください。

『後期教育活動に関するアンケート』へのご協力をいただき、ありがとうございました。アンケート結果につきましては、冬休み明けにお知らせいたします。結果について、全教職員で共有するとともに、よりよい学校づくりのために生かしてまいります。



1月行事予定



★1月の「スクールバス」行事予定★

日	曜	行事予定	スクールバス					給食
			11:30	13:10	14:40	15:30	15:40	
1	木	元日 年始休業(学校閉庁日)						
2	金	年始休業(学校閉庁日)						
3	土	年始休業(学校閉庁日)						
4	日							
5	月	諸費納入日⑤						
6	火							
7	水							
8	木							
9	金							
10	土							
11	日							
12	月	成人の日						
13	火							
14	水							
15	木							
16	金							
17	土							
18	日							
19	月	3学期始業式 午前授業 下校指導		◆				◎
20	火	木曜日課 ウーフの会				14:20		◎
21	水	スキー学習(3・4年)		◆	◆	◆		◎
22	木					14:20		◎
23	金	スキー学習(5・6年)			◆	◆		◎
24	土							
25	日							
26	月	木曜日課		◆		14:20		◎
27	火				◆	◆		◎
28	水	スキー学習(2・3・4年) 児童会専門委員会⑤		◆	◆	◆		◎
29	木					14:20		◎
30	金	児童会行事 PTA交通安全指導③			◆	◆		◎
31	土							

ほくしん

岩見沢市稔町30-7 ☎ 22-5383

☆学校教育目標☆

- 思いやりのある子ども
- 自ら考えて進んで学習する子ども
- 元気でがんばり抜く子ども

一年のしめくくり、「いのち」と「心」を見つめて

校長 三 國 均

今年も残りわずかとなりました。子どもたちは、日々の学習や学校生活を通して、一つ一つの経験を積み重ねながら成長を続けています。これから始まる冬休みは、一年を振り返るとともに、新しい年に向けたよいスタートを切るための大切な期間です。学校では、生活リズムを整え、心身ともに健やかに過ごすことを大切にしながら、普段なかなかできない体験に取り組むなど、心身をリフレッシュする期間にもなればと考えています。

先日、青森県東方沖を震源とする地震が発生し、本校でも授業中に揺れを感じる場面がありました。その際、子どもたちは教職員の指示に従い、机の下に身を入れるなど、これまでの防災指導で学んできた行動を落ち着いて取ることができました。揺れが収まった後は体育館へ移動し、身を守る行動や避難の流れについて改めて確認しました。災害時には、自分の命を守る行動を取る「自助」、周囲と助け合う「共助」、関係機関による支援である「公助」が、それぞれ重要であるとされています。学校では、今後も実際の場面を想定した指導を通して、判断力と行動力を育ててまいります。

また、北海道の冬は、積雪や路面凍結、暴風雪など、生活に大きな影響を及ぼす自然条件があります。学校では、登下校時の安全確保をはじめ、季節の特性を踏まえた安全指導を継続しています。ご家庭におかれましても、服装や持ち物、天候の変化への対応などについて、日頃から話題にしていただければ幸いです。

学校生活の中では、人それぞれ考え方や感じ方が異なることを前提に、互いを尊重する姿勢が大切になります。例えば、「家や木、池、空の様子」を言葉で説明して絵を描いてみると、同じ話を聞いていても、出来上がる絵は一人一人異なります。人は、それぞれの経験や考えをもとに物事を受け止めているからです。言葉の受け取り方も同じで、感じ方には違いがあります。だからこそ、相手の立場を考え、思いやりをもって関わることが求められます。また、自分の思いや考え方を、相手に分かりやすく丁寧に伝えようとする姿勢も欠かせません。学校では、こうした力が身に付くよう、学年の発達段階に応じた指導を行っています。

これらのことについては、ぜひご家庭でも話題にしていいただき、日常の中で確認や準備につなげていただければと思います。例えば、地震が自宅で起きた場合に「どこで身を守るのか」「家族はどこに集まるのか」など、家庭での決まりを話し合い、共有しておくことは、いざという時の行動につながります。学校と家庭が連携しながら、子どもたちの実践力を育てていければと考えております。

一年のまとめの時期を迎え、子どもたちが自分自身の成長を実感し、次の目標に向かって前向きに進めるよう、学校として引き続き丁寧に教育活動を進めてまいります。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

いじめの根絶をめざして

本校では、「北真小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、いじめの未然防止、早期発見、早期対応・解決に向けた取組を、年間を通じて計画的に進めています。その一環として、今年度5月に第1回「いじめアンケート」を全児童対象に実施し、10月に第2回目を実施いたしました。以下に、その結果の一部をまとめましたのでお知らせいたします（項目に「はい」と答えた児童の割合）。

アンケート項目	5月	10月
①今年の4月から今日まで、嫌な思いをしたことがありますか。	11%	28%
②嫌な思いをしたとき、誰に相談しますか。「誰にも相談しない」と回答した児童	3%	3%
③今年の4月から今日まで、友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。	12%	29%
④「いじめ」はどんな理由があっても許されないことだと思いますか。	97%	87%

今回の結果では、嫌な思いをした経験の増加が見られた一方で、「誰にも相談しない」という児童の割合に大きな変化はなく、引き続き安心して相談できる体制づくりが重要であることがわかりました。また、「いじめは許されない」という認識については、対話や道徳教育を中心にさらなる啓発が必要であると受け止めています。

こうした結果を踏まえ、担任による個別面談や、いじめ防止対策委員会での協議を継続して行い、丁寧に解決を図っているところです。また、お互いを支え合う心を育てる「ピア・サポート活動」等を通して、相手の気持ちを尊重し行動できる力の育成にも努めています。

「いじめは絶対に許されない行為である」という基本姿勢のもと、「すべての子どもに安心できる居場所のある学校づくり」を推進してまいります。『お互いの違いを認め合う心』『相手を思いやる心』の大切さを今後も継続して指導し、「いじめ0（ゼロ）」を目指した取組を進めてまいります。

冬休みに入りますが、お子さんの様子でお気づきの点やご心配なことがありましたら、どうぞ遠慮なく学校までご連絡ください。

スキー学習に向けてのご準備をお願いします

冬休み明けには、萩の山スキー場にて（1年生は学校グラウンドにて）スキー学習を行います。安全で楽しく学習を進めるために、ご家庭での準備・点検へのご協力をお願いいたします。

【ご家庭で確認いただきたいこと】

- ① スキー板の点検（ワックスがかかっているか、エッジにサビや欠けがないか）
- ② スキー靴の点検（サイズが合っているか、破損がないか）
- ③ ポールの点検（長さが適切か、曲がっていないか）
- ④ ビンディングの調整

※ PL法により、学校で調整することは一切できません。

あらかじめ販売店等でご確認ください。

- ⑤ すべての持ち物に記名をお願いします。
- ⑥ 冬休み中にスキー場で練習していただくと、けがの防止にもつながります。どうぞよろしくご協力をお願いします。



小・中異学年交流会

11月21日(金)、第一小学校を会場に「小・中学校異学年交流会」が行われました。本校・第一小の1年生と緑中学校の3年生が参加し、遊びを通して交流を深めました。この交流会は、

- ・小学生が他校の友達と関わる楽しさを感じ、積極的にふれあいを広げること
 - ・中学生が低学年の児童のために遊びを企画・運営し、課題解決力やコミュニケーション力を育むこと
- を目的にしています。

当日は、緑中の3年生が時間をかけて準備してくれた「お店(遊び)」が体育館いっぱいになりました。1年生は、中学生のお兄さん・お姉さんの説明をしっかりと聞きながら、夢中になって挑戦!笑顔があふれる、楽しい時間となりました。

学校へ戻ってきた子どもたちは、両手いっぱいのお土産を手に、満足そうな表情を見せてくれました。優しく接してくれた中学生のみなさん、ありがとうございます。これからも、異学年の仲間とのつながりを大切にしていきたいと思えます。



情報モラル教室

12月17日(水)、岩見沢市青少年センターから佐々木 亮 先生を講師にお迎えし、5・6年生を対象に「情報モラル教室」を実施しました。インターネットの適切な利活用や、情報の正しさを見極める力の大切さについて、分かりやすくお話をいただきました。

また、インターネットは便利である一方、使い方を誤ると人を傷つけたり、将来に影響を及ぼしたりすることがあること、困ったときには一人で抱え込まず大人に相談することの大切さについても学びました。

学校では今後も、発達の段階に応じた情報モラル教育を進めてまいります。ご家庭でも、インターネットの使い方について話題にいただけると幸いです。



『5つの約束』の取組について

すでに10月24日に連絡アプリ「tetoru」にてお知らせしておりますが、岩見沢市教育委員会では、市内すべての小・中学生のご家庭に向けて「5つの約束」の取組をお願いしています。

- ◎早寝・早起き・朝ごはん
- ◎毎日の家庭学習
- ◎次の日の学習準備
- ◎読書に親しもう
- ◎家族との会話を大切に

冬休みは、どうしても生活リズムが乱れやすい時期です。これをよい機会と捉え、お子さんの生活習慣を見直すきっかけとして、ぜひご家庭で一緒に確認しながら取り組んでいただきますようお願いいたします。

学校でも、子どもたちが健康で元気に過ごせるよう、継続して声かけを行ってまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



北真っ子の活躍・・・

大会やコンクール等で子どもたちの活躍がございましたら、ぜひ学校までお知らせください。

【北海道学び推進月間標語】

- ★ 空知教育局最優秀賞 山本 鈴さん（5年）
作品『学びとは になりたい自分の かけはしだ』
- ★ 空知教育局 奨励賞 片倉 心陽さん（4年）
作品『本の世界 いろんなこうけい ひろがるよ』



【第73回 岩見沢市よい歯のコンクール】

- ★ 優秀賞 岩森 結愛さん（6年）
- ★ 優秀賞 小太刀 夏向花さん（6年）



<緊急連絡のお願い> 学校メールアドレス hokushins@edu.hamanasu.com

1. 万が一、冬休み中に事故やけがなどがありましたら、学校でも状況を把握し、必要に応じて対応させていただきますので、学校（22-5383）までご一報いただければ幸いです。
2. 土・日曜日、祝日、および学校閉庁日【12月27日（土）～1月4日（日）】は、教職員が不在となるため、学校への電話がつながりません。この期間に緊急連絡が必要な場合は、学校メールアドレスまでご連絡ください。

- ※ 右の二次元コードからも送信できます。
- ※ メールには、「学年、児童氏名、概要」を必ずご記入ください。
- ※ 学校休業日にメールを確認次第、折り返しご連絡いたします。



令和7年度 1月行事・スクールバス運行予定表 12月12日現在

日	曜	第1便	第2便	第3便	校内行事・PTA行事(★は短縮日課で清掃はありません)
1	木				元日 冬季休業⑧ 学校閉庁日
2	金				冬季休業⑨ 学校閉庁日
3	土				冬季休業⑩ 学校閉庁日
4	日				冬季休業⑪ 学校閉庁日
5	月				冬季休業⑫
6	火				冬季休業⑬
7	水				冬季休業⑭
8	木				冬季休業⑮
9	金				冬季休業⑯
10	土				冬季休業⑰
11	日				冬季休業⑱
12	月				成人の日 冬季休業⑲
13	火				冬季休業⑳
14	水				冬季休業㉑
15	木				冬季休業㉒
16	金				冬季休業㉓
17	土				冬季休業㉔
18	日				冬季休業㉕
19	月	13:40	14:30	*	★3学期始業式 自由研究作品展
20	火	13:20	14:20	15:20	1年4H,2～4年5H
21	水	*	14:20	15:20	フッ化物洗口 校内安全点検日
22	木	*	14:20	*	全校5H 4～6年スキー学習(1) 鉄北地区学校運営協議会(CA 北真ミーティング)
23	金	*	14:20	*	PTAボランティア「下校パトロール」
24	土				
25	日				
26	月	13:40	14:30	*	★
27	火	13:20	14:20	15:20	1年4H,2～4年5H
28	水	*	14:20	15:20	ミニピア(14) 諸費口座振替日 フッ化物洗口
29	木	13:20	*	15:20	1～3年4H 2～3年スキー学習(1)
30	金	*	14:20	*	4～6年スキー学習(2)
31	土				



次期学習指導要領では… 校長 古畑 聡子

学習指導要領とは、学校教育の目標や内容を国が示したものです。現在の学習指導要領は、2020年に改訂されたもので、外国語の教科化や主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）、プログラミング教育等が盛り込まれました。更に、一人一台のタブレットでデジタル活用を進める「GIGA スクール構想」も普及しています。

しかし、学校をとりまく状況は厳しいものがあります。不登校の小中学生は令和6年度の文部科学省の調査で、約35万4千人と12年連続で増加し、過去最多となりました。不登校傾向にあるとされる中学生も、認定NPO法人カタリバの調査では、約13%にのぼると推計されています。また、公立学校で日本語指導が必要な児童生徒は約6.9万人（R5年度調査）と過去最多で、10年で約2倍となっており、今後もさらに増える見通しです。

こうした様々な背景を受けて、中央教育審議会（中教審）から、2030年の新学習指導要領の改訂に向けての素案として、①主体的・対話的で深い学び、②多様性の包摂（受け入れ、支えること）、③実現可能性の確保が示されました。特に②の多様性の包摂では、不登校の児童生徒、通級指導が必要な児童生徒、特定分野に特異な才能のある児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒など、多様な児童生徒に柔軟な教育課程編成の促進や標準授業時数の弾力的運用等が検討されています。

本校では、既に今年度から授業時数特例制度を活用して、授業時数の弾力的運用を進めているところですが、今後につきましても多様な児童のニーズに柔軟に対応できるよう、教育環境整備等に努めて参りますので、保護者、地域の皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

さて、長かった2学期も本日が最終日。ご家庭・地域の皆様のご協力をいただき、子供たち一人一人が教育活動の中で、充実した日々を送ることができましたことに心より感謝申し上げます。良いお年をお迎えください。

『いじめ調査』（2回目）



質 問	ある	ない	
あなたは、今年の4月から今日まで、 嫌な思いをしたことがありますか。	6	19	
	24%	76%	
質 問	そう思う	そう思わない	よくわからない
「いじめ」はどんな理由があっても 許されないことだと思いますか。	24	0	1
	96%	0%	4%

嫌な思いをした時 誰に相談しますか。	
学校の先生	14
スクールカウンセラー	3
友人	9
父や母	20
兄弟姉妹	0
電話相談	0
メールやSNSの相談窓口	1
誰にも相談しない	0
その他	0

1回目との比較から、「嫌な思いをしたことがある。」と回答した児童が若干増加しています。集団生活の中で「嫌な思い」をゼロにすることは難しいと考えます。だからこそ、嫌な思いをした時に、誰かに相談したり、助けを求めたりすることができるように指導を続けています。

「誰に相談する？」の回答に「父や母」「学校の先生」が多いことが本校の特徴と考えます。加えて、高学年になると「友人」が次に続きます。大人に相談したり、「友人」に話を

したりする中で解決の道すじが見えてくることが多々あります。また、「誰にも相談しない」が「0人」ということは注目すべきことです。大人が信頼できる存在となっており、友人との信頼関係も確立されていることが推察できます。今後も、子供たちが嫌な思いをしたり、困ったりした時にSOSを発信しやすい環境の構築を目指し、取り組みを進めていきたいと考えています。

なお、裏面に主な相談窓口を掲載しておりますので、ご活用いただければと思います。

児童自身をはじめ保護者の方もお子様の成長についての小さな悩み事も、気軽にスクールカウンセラー（SC）に相談できます。希望される方は、学校までご連絡ください。（44-2205）

スクールカウンセラー予定

【1月21日・29日・2月12日・26日 3月5日】

「遊び集会」

児童会主催の「遊び集会」が2週連続で開催されました。体育館で「転がしドッチボール」と外での「雪合戦」です。どちらもみんなが楽しめるように工夫されたものでした。さすが、「自分で決める児童会」です。冬になり雪が降ると、どうしても屋内にこもりがちですが、そんな時こそ体を動かしたいところですね。



「清園中プレ登校」

15日(月)に清園中にてメープル小6年生と志文小6年生が参加しました。中学校生活を体験して、中学校入学へのイメージを作ることを目的に昨年度より行われています。当日は「朝の会」「中学生との交流」「数学の授業体験」「情報モラル教室」「給食」「帰りの会」と午前中を志文小の6年生と



ともに中学校で過ごしました。6年生にとって貴重な体験となりました。

「睡眠の学習」

ご家庭の皆様にもご協力いただいた「すいみんカレンダー」を活用して、「睡眠について」の授業を行いました。自身の睡眠の様子を振り返りながら、睡眠が体に及ぼす影響、効果などを学びました。改めて、自分の睡眠について考えるきっかけとなればと思っています。



「食育」～規則正しい生活のために～

共同調理所より池田栄養教諭をお迎えして、「食育」の授業をしていただきました。「規則正しい生活のために、大切なことはなんだろう。」という課題で学習を進めました。自分の一日の生活をふり返ったり、栄養素について考えたりしながら、食べることの大切さを感じることができたようです。この後、冬休みに入りますので、今回学んだことをいかして規則正しい生活を送ってほしいと思います。



「租税教室」

岩見沢間税会の方を講師にお迎えして5・6年生を対象に「租税教室」を行いました。税の仕組みや種類について学ぶことができました。



「SMS 小中連携研修」

先生たちも勉強!

15日(月)の午後から清園中・志文小・メープル小の先生が一堂に会して、研修を行いました。子供たちの「学び」について研修を深めることができました。



1月行事予定



- | | |
|------------------|-----------------|
| 1日(木) 学校閉庁日 | 22日(木) 後期委員会⑥ |
| 2日(金) 学校閉庁日 | 23日(金) スキー授業1回目 |
| 3日(土) 学校閉庁日 | 集金日 |
| 6日(火) 特認校入学面接 | 26日(月) PTA 役員会 |
| 19日(月) 3学期始業式 | 30日(金) スキー授業2回目 |
| 21日(水) 全校ピア・サポート | |

主な相談窓口(困りごと)

- ・「子ども相談支援センター」 0120-3883-56 24時間対応
- ・「24時間子供SOSダイヤル」 0120-0-78310 24時間対応
- ・空知教育局教育相談電話 22-3912 (平日 8:45~17:30)
- ・岩見沢市 教育支援センター 35-5161 (平日 8:45~16:30)

学校閉庁日 12月29日~1月3日の期間は閉庁日です

緊急の連絡が必要な場合は、Tetoruにてお知らせ願います。なお、返信にお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。



学校教育目標 **もとめる子 思いやる子 やりぬく子 きたえる子**

臨時号

学校だより

岩見沢市立北村小学校
令和7年12月22日 発行

令和7年度 学校評価アンケート結果分析の報告

過日、保護者の皆様には、本校の教育についてのアンケート(学校評価アンケート)にご協力いただきましてありがとうございました。アンケートの結果および学校改善の方向性などをまとめ、以下にお示しいたします。今後ともより良い教育活動を提供するため工夫改善してまいります。本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

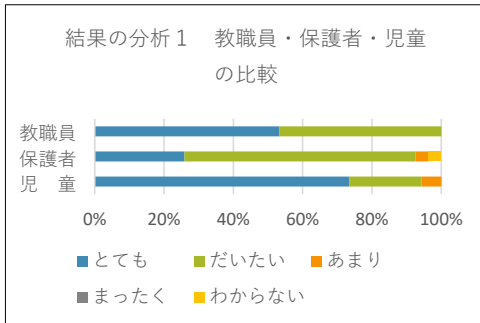
学校評価アンケート結果の分析(1)

めざす学校像①「児童生徒が期待感を持ち、通いたくなる学校」に関する質問

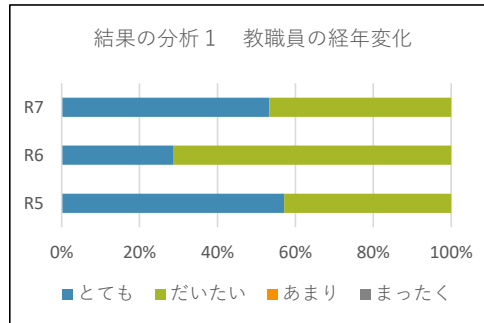
対象	質問番号	質問事項
教職員	1	学校は、子供たちが生き生きと学ぶ教育活動を行っている。
保護者	1	学校は、子供たちが生き生きと学ぶ教育活動(授業・行事等)を行っている。
児童	1	学校は楽しい

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

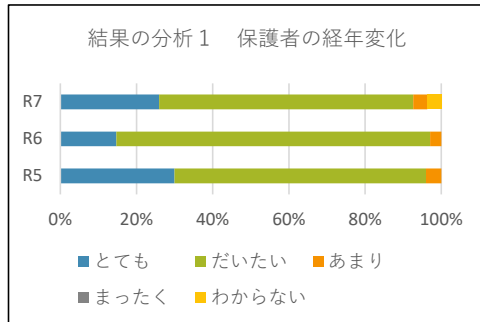
【教職員・保護者・児童の比較】



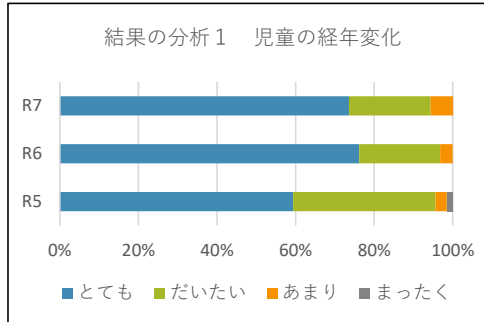
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者とも9割以上の肯定的な意見でした。教職員は、全教育活動を通じて、できる・わかる充実した学びの定着を今後も進めていきます。一方で、昨年度と同じく保護者と児童に否定的な意見が一部にあったことを重く受け止め、教育活動の可視化をさらに加速させ、丁寧な指導を継続していきます。

・経年変化について、保護者においては、「とても」が昨年度よりも上昇しました。本校の教育活動が少しずつ肯定的に認知されている証左と捉え、今後も子供たちに満足できる教育活動の実践の工夫に余地があるととらえ、今後の授業改善等を進めます。

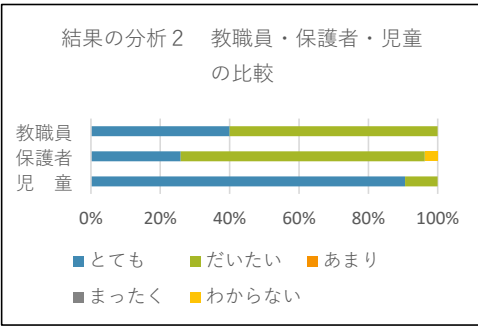
学校評価アンケート結果の分析(2)

めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

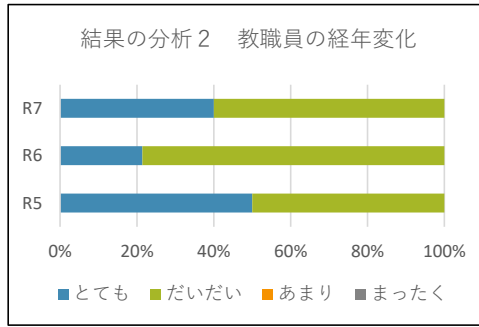
対象	質問番号	質問事項
教職員	2	学校は、子供の自己肯定感を高める教育を行っている。
保護者	2	学校は、子供をほめたり励ましたりして、意欲を引き出す教育をしている。
児童	2	先生は、あなたのことをほめたり、励ましてくれる。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

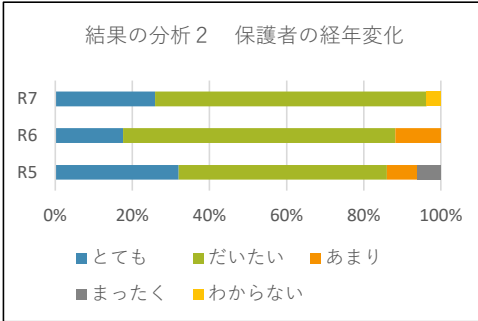
【教職員・保護者・児童の比較】



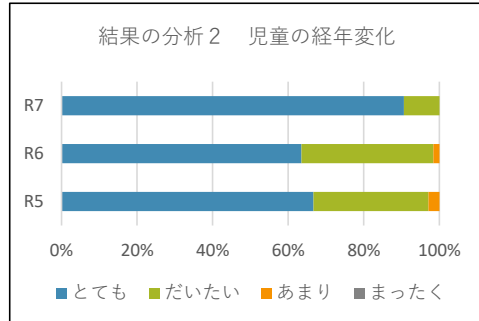
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果の結果と考察〉

・3者とも、肯定的な意見が得られました。今後も「認め励ます指導・支援」をもとに、学習指導と生徒指導の一体化を図りながら、個に応じた指導・支援を行っていきます。
 ・経年変化について、3者とも昨年度よりも数値が上昇しました。特に児童の数値が上がりました。今後も子供の主体的な学びを促進する授業改善、子供自身ができた・わかった・友達に説明できたなどを実感できる学びを校内研修等を通じて高めていきます。

学校評価アンケート結果の分析(3)

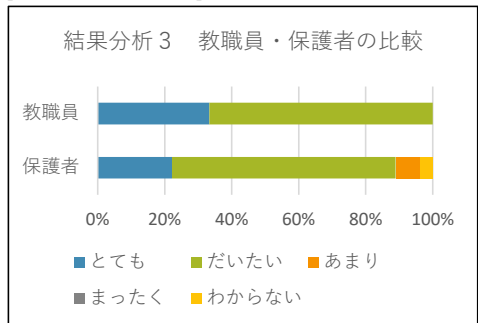
めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

めざす教師像③「家庭・地域との連携・協働を大切に信頼される教師」に関する質問

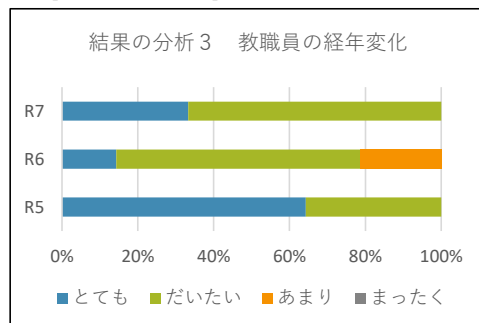
対象	質問番号	質問事項
教職員	3	学校は、子供や保護者の期待に応え、信頼される学校になるよう取り組んでいる。
保護者	3	北村小は、子供や保護者の期待に応え、信頼できる学校である。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

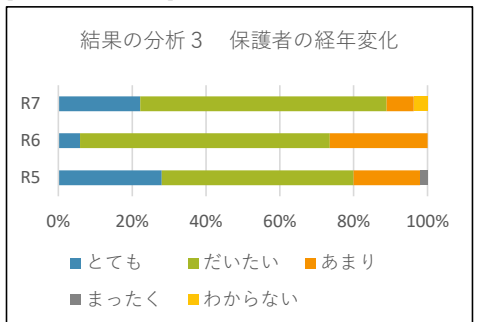
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



↑3,4年枝豆収穫の様子

〈アンケート結果と考察〉

・2者共に肯定的な意見が約9割以上という結果でした。一方で保護者では約1割に否定的な意見またはわからないという意見が出されました。信頼される学校となるため、今後も日々の教育活動の質の向上、生徒指導の対応等幅広い観点から児童や保護者に丁寧に情報発信の教科等の対応を行って行きます。
 ・経年変化について、2者共に「とても」の数値が上昇しています。今後も信頼を得られる学校経営を進めていきます。

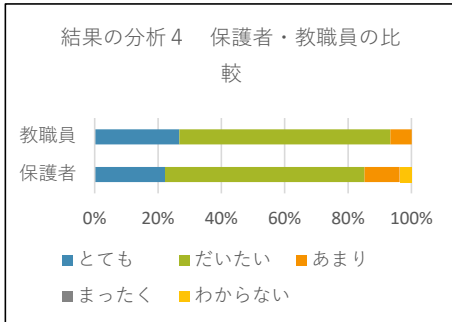
学校評価アンケート結果の分析(4)

めざす学校像③「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

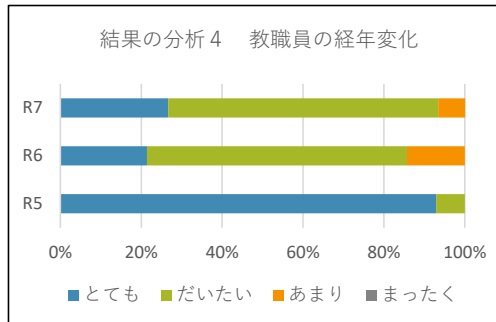
対象	質問番号	質問事項
教職員	4	北村小の教員は、心理的安全性が確保された環境の下でやりがいを持って業務を行っている。
保護者	4	北村小の教員は、笑顔が溢れ、生き生きと子供たちに教育を行っている。(今年度新設項目)
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

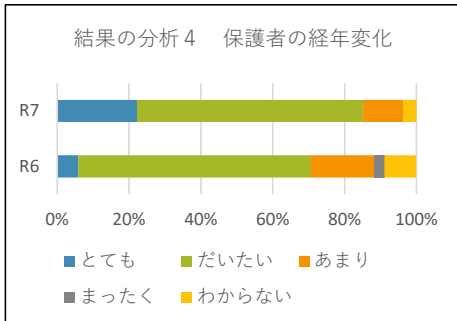
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



↑5年宿泊学習の様子(夕食)

〈アンケート結果と考察〉

・2者共に約8割5分以上の肯定的意見が出されました。一方で2者共に否定的な意見が一部に見られました。子供たちの資質・能力を高めるためには、教職員も安心安全な環境で業務を行うことが重要な視点の1つです。そのような環境を整えつつ、今後も肯定的な意見に変容するよう、日々の積み重ねにより心理的安全性を高めていきます。
 ・否定的な意見が一部にありますが、経年変化について、2者共に昨年度より数値が下降しました。

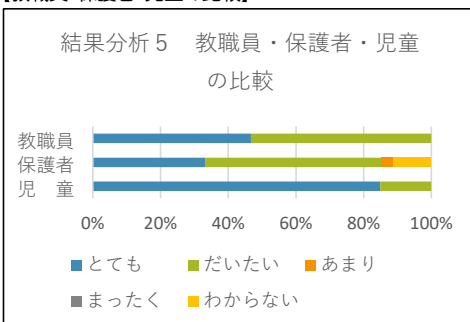
学校評価アンケート結果の分析(5)

めざす教師像①「心に寄り添い児童生徒を徹底して大切にする教師」に関する質問

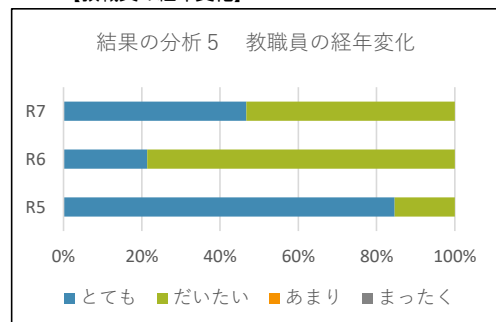
対象	質問番号	質問事項
教職員	5	学校は、子供のことをよく理解し、子供や保護者からの相談に適切に応じている。
保護者	5	学校は、子供の声に耳を傾け、子供や保護者からの相談に適切に応じている。
児童	3	先生は、あなたの話をきちんと聞いたり、声をかけたりしている。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

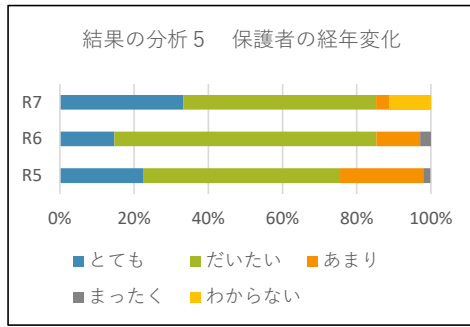
【教職員・保護者・児童の比較】



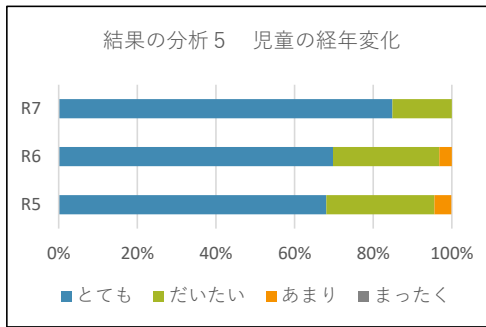
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者共に9割以上の肯定的な意見でした。保護者においては、否定的な意見やわからないという意見が一定数あることから、今後もこれまで以上に、子供の考えに寄り添い、保護者のニーズを丁寧に聞き取りながら対応を迅速に行うなど進めていきます。
 ・経年変化について、「ととも」は3者とも上昇しました。3者共に安心できる学校経営、子供が安心できる教室・学校をつつていきます。

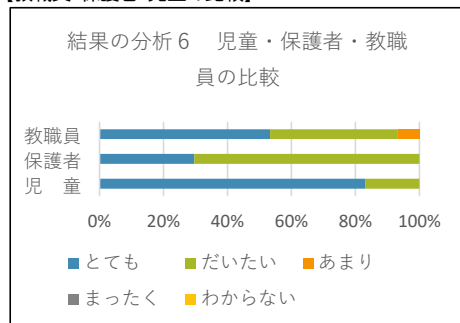
学校評価アンケート結果の分析(6)

めざす教師像②「授業改善や授業づくりに励み、研鑽し高め合う教師」に関する質問

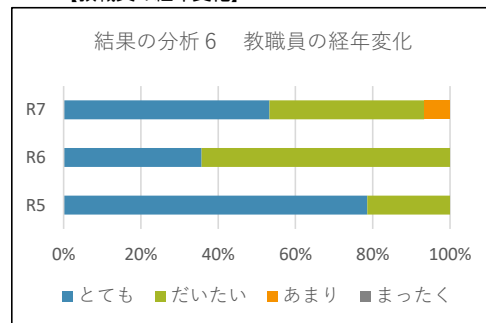
対象	質問番号	質問事項
教職員	6	学校は、ICTの効果的な活用、学びに向かう力の育成、授業改善など、学力向上の取組を行っている。
保護者	6	学校は、学びに向かう力の育成、ICTの効果的な活用(実物をテレビに映す、ipadを使った様々な学習活動等)、授業改善など、学力向上の取組を行っている。
児童	4	授業はわかりやすい。

グラフは、ととも:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

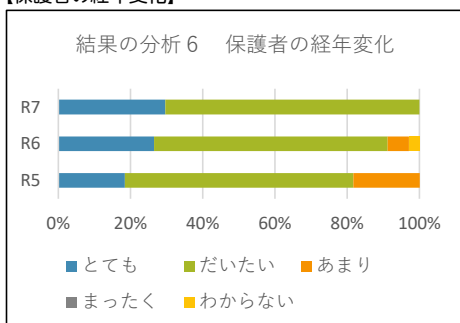
【教職員・保護者・児童の比較】



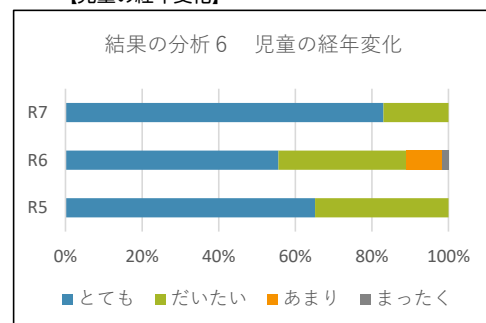
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者共に9割以上の肯定的な意見でした。教職員で一部否定的な意見がありましたが、「もっとICTを活用した授業改善ができるのではないか？」という前向きな意見と推察します。今後も効果的なICTの活用を通したわかる授業、他者と対話が多くなされる授業の構築に今後も努めていきます。また、昨年度児童については授業がわかりやすいかどうかについて、約1割の児童が否定的な意見でしたが今年度はこれが皆無になりました。教員による授業の質の改善が進んでいる証左と考えます。
 ・経年変化について、3者とも「ととも」が上昇しました。今後も効果的な端末の活用などを通して子供の資質・能力を高めていくと共に、これらの実践を多く周知していきます。

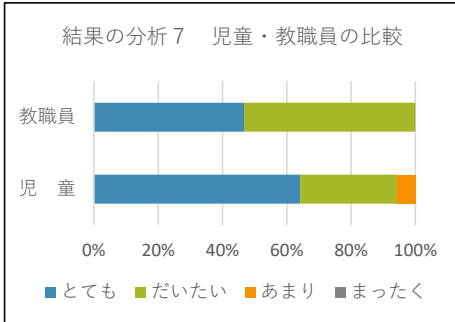
学校評価アンケート結果の分析(7)

めざす教師像②「授業改善や授業づくりに励み、研鑽し高め合う教師」に関する質問

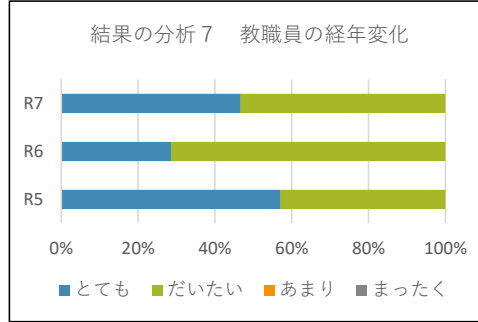
対象	質問番号	質問事項
教職員	7	学校は、授業で主体的に学ぶ態度や対話をする能力の育成、自立した学習者を生み出す授業改善に取り組んでいる。
保護者		なし
児童	5	授業中、友達の話さきちんと聞いて、自分の考えをしっかりと伝えている。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

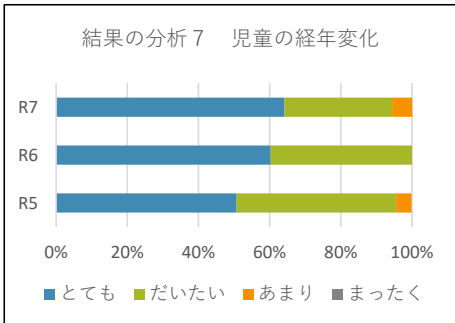
【教職員・児童の比較】



【教職員の経年変化】



【児童の経年変化】



↑1,2年体育の様子

〈アンケート結果と考察〉

・2者共に9割5分以上の肯定的な意見でした。校内研修等を通して、さらに授業改善の質を高めていきます。
 ・経年変化について、2者とも「とても」の数値が上昇しました。児童の一部に否定的な意見を出していることを考慮し、今後も発言機会や交流場を増やす授業構成の改善・工夫を行い、児童が学習の成果を実感できる環境を整えて参ります。

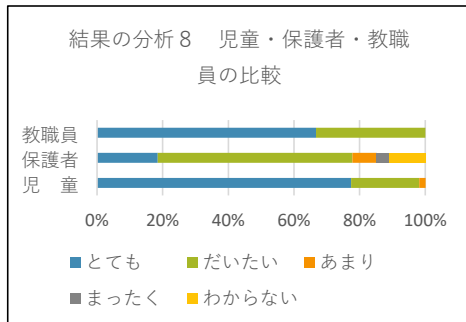
学校評価アンケート結果の分析(8)

めざす児童像②「[徳]自分を律し、自他を大切にできる児童」に関する質問

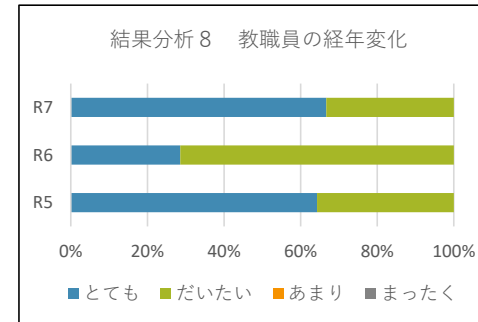
対象	質問番号	質問事項
教職員	8	学校は、「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく集団形成、心の育成に取り組んでいる。
保護者	7	学校は、思いやりや友達を大切にするなど、心の育成を行っている。
児童	6	友達と仲良くすることができる。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

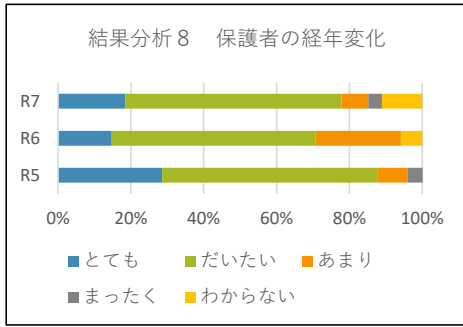
【教職員・保護者・児童の比較】



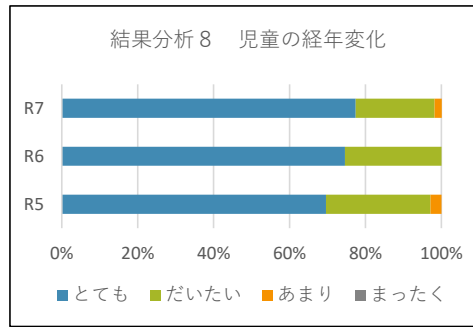
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・児童と教職員はほぼ全員肯定的な意見でした。保護者においては、約1割強が否定的な意見、約1割がわからないという意見でした。昨年度より否定的な意見の数値が下降したものの、心の育成についてまだまだ改善の余地があると受け止めます。日々の教育活動を通してこの数値が改善されるよう実践を積んでいきます。

・経年変化について、3者とも「とても」の数値が上昇しました。友達と仲良く活動を行って行く教育活動が少しずつ浸透していると捉えます。道徳科やピア・サポートの実践を日常的に行い、成果の見られる心の育成を進めていきます。

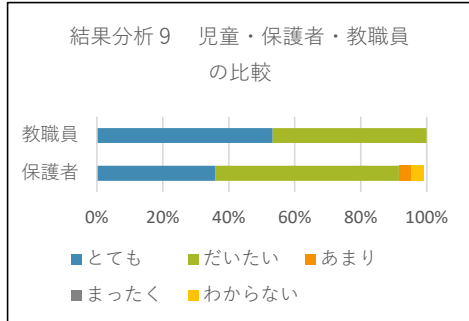
学校評価アンケート結果の分析(9)

めざす児童像②「徳」自分を律し、自他を大切にできる児童」に関する質問

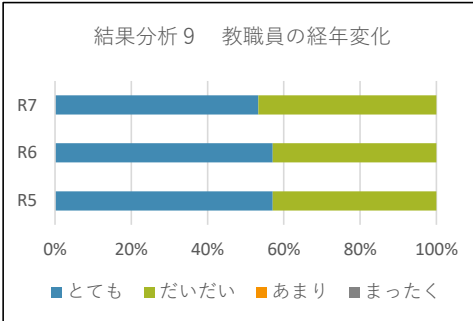
対象	質問番号	質問事項
教職員	9	学校は、子供たちの事故防止、安全確保のための安全教育を行っている。
保護者	8	学校は、子供たちの事故防止、安全確保のための対応をしている。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

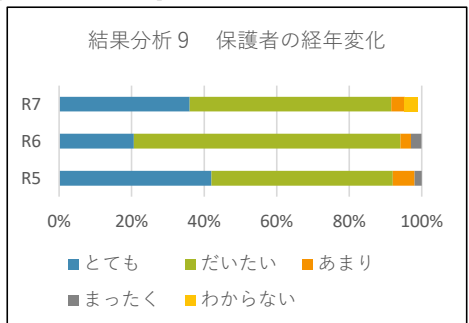
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



↑6年参観日の様子

〈アンケート結果と考察〉

・2者共に9割以上が肯定的な意見でした。一方で、保護者においては、事故防止等に関して不安がある方が一部にいると捉えます。日常の安全指導や訓練等を通して、一人一人が安全意識を高め行動につなげられるよう取組を行って行きます。

・経年変化について、保護者においては、肯定的意見の数値が上昇しています。今後も学校安全の取組を積み重ねていきます。

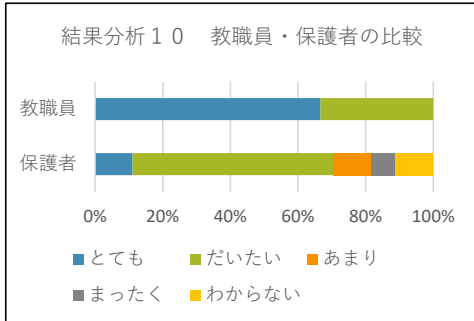
学校評価アンケート結果の分析<10>

経営の重点『最重点項目：学び続ける学校「チームで支える持続可能な協働体制の構築」』に関する質問

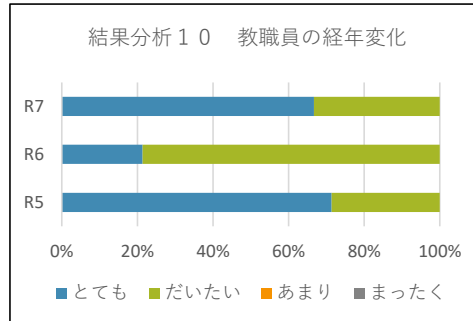
対象	質問番号	質問事項
教職員	10	学校は、いじめや生徒指導上の問題に迅速かつ組織的に対応し、いじめに対する危機管理を徹底している。
保護者	9	学校は、いじめや生徒指導上の問題に素早く適切に対応している。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

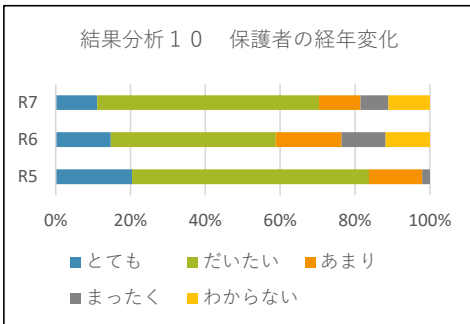
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



↑1年生を迎える会の様子

〈アンケート結果と考察〉

・保護者においては、約7割の肯定的な意見、約2割の否定的な意見、約1割のわからないという結果でした。今後もいじめや生徒指導上の課題に対し、不安な思いを改善できるよう努めて参ります。疑わしい事案があれば、校内組織を動かし、情報共有し、迅速な対応を行うなど、1つ1つ事案に応じた柔軟な対応を行って行きます。
 ・経年変化について、肯定的意見全体では昨年度より保護者は上昇しました。また、保護者の否定的意見が少し下がったことから少しずつ学校の取組が認知されてきていると捉えます。

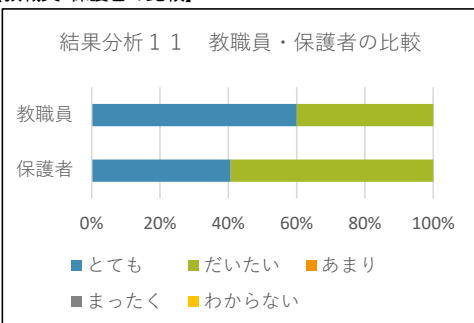
学校評価アンケート結果の分析<11>

めざす学校像②「家庭・地域が応援しなくなる学校」に関する質問

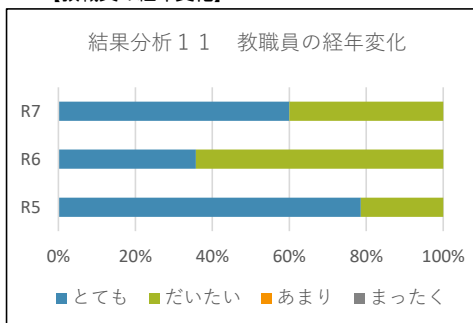
対象	質問番号	質問事項
教職員	11	学校から出される文書や連絡は、わかりやすく伝えられており、教育方針や活動の様子がよくわかる(学年便り、学校便り、テトル等)。
保護者	10	学校から出される文書や連絡は、わかりやすく伝えられており、教育方針や活動の様子がよくわかる(学年便り、学校便り、テトル等)。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

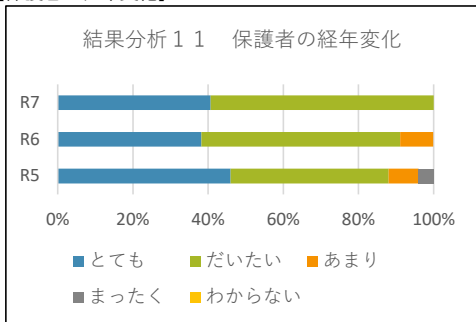
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



↑ 田植えの様子

〈アンケート結果と考察〉

・2者共にすべての保護者が肯定的な意見でした。今後も各種通信等を通じて可能な限り教育活動をお知らせしていきます。
 ・経年変化について、保護者は昨年度あった否定的意見が皆無になったことから、学校から発信するお便りの内容や質がさらによくなってきていると捉えます。今後も発信する内容の質や量など工夫を重ねていきます。

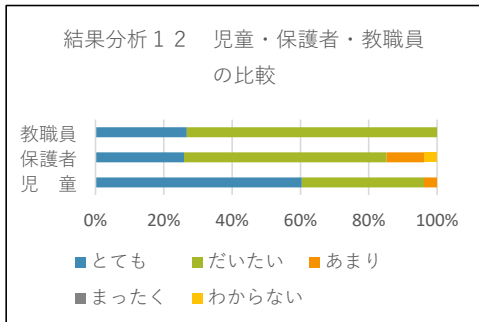
学校評価アンケート結果の分析(12)

めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

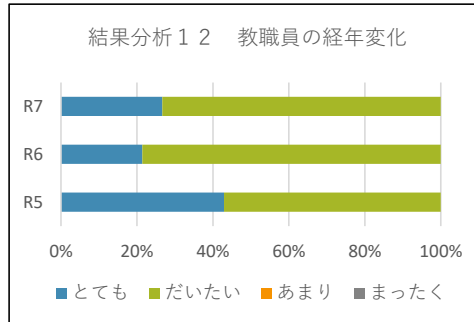
対象	質問番号	質問事項
教職員	12	学校は、地域・保護者と協働し、多様な他者との関わりを通じて「自立する子供(自らの考えを持ち、自身の力で学びを進め深めて行く子供)」の育成に取り組んでいる。
保護者	11	学校は、地域・保護者と協働し、それの方々との関わりを通じて「自立する子供(自らの考えを持ち、自身の力で学びを進め深めて行く子供)」の育成に取り組んでいる。
児童	7	地域の人との学習を通して、目標(めあて)を持ち、自分で考え、行動している。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

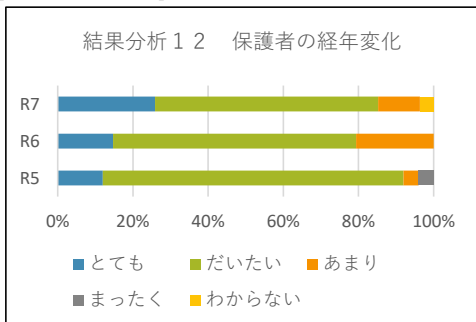
【教職員・保護者・児童の比較】



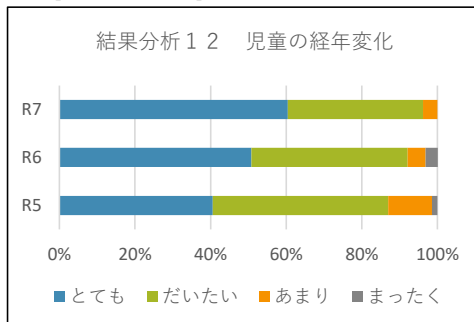
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者とも9割以上の肯定的意見であることから、地域との関わりを大事に捉え、学びを進められていると考えます。一方で、保護者の約1割が「あまり」であることから、「自立」に対する認識が保護者・地域・学校と共有できていない部分があると考えられます。学びを通じて、成果の「見える化」を行うなど、学びの積み上げができるように進めていきます。
 ・経年変化について、保護者は昨年度2割の否定的意見が今年度は半分に減りました。否定的意見が皆無になるよう、今後も学校運営協議会等と協働した質の高い教育活動を進めていきます。

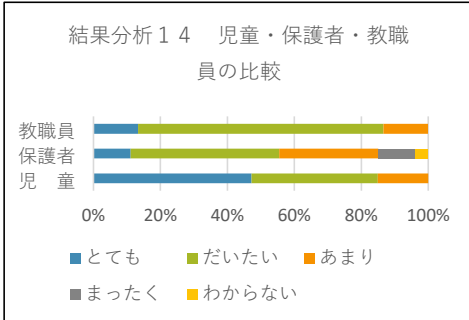
学校評価アンケート結果の分析(13)

家庭教育の観点による質問①

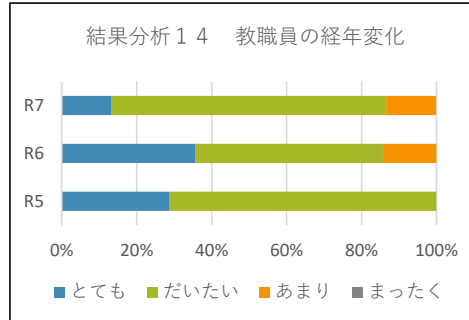
対象	質問番号	質問事項
教職員	14	学校は、保護者の協力を得ながら、家庭学習の充実に取り組んでいる。
保護者	12	お子様は、家庭学習の習慣がある。(お子様が複数いらっしゃる場合は、お子様全員の様子からその傾向をお答えください。)
児童	8	家で勉強をしている。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

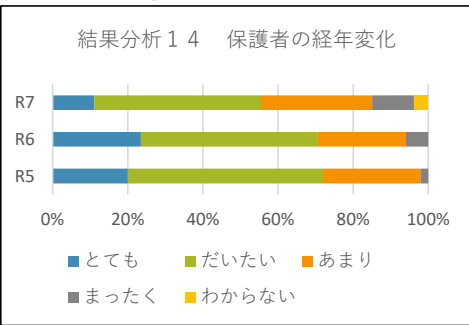
【教職員・保護者・児童の比較】



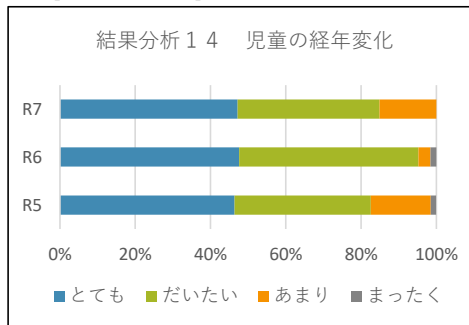
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

家庭学習の取組について傾向がわかる結果となりました。教職員はさらに保護者と共に子供たちの家庭学習の充実を図りたいこと、保護者の約4割は家庭学習の習慣について否定的に捉えていること、児童の約8割5分の児童は家庭学習を家でしていると認識していることがわかりました。今年度も、子供は家庭学習を十分にしているという認識であるが、保護者はそう思っていないという考察ができます。個に応じた家庭学習の出し方や質・量など学年の実態に応じた家庭での学習について今後学校でも精査を図っていきます。

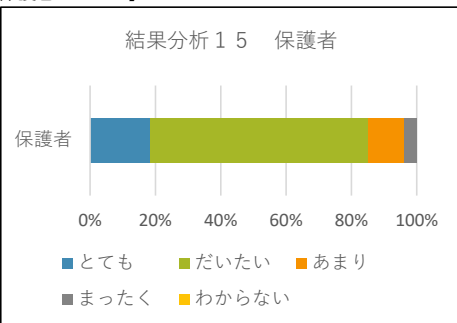
学校評価アンケート結果の分析(14)

家庭教育の観点による質問②

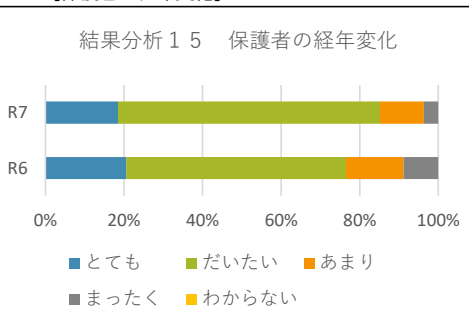
対象	質問番号	質問事項
教職員		なし
保護者	13	家庭では、お子様と、インターネット、ゲーム、テレビ、スマートフォン等デジタル機器の使用時間等のルールを決めている。(今年度新設項目)
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

【保護者のグラフ】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

保護者の約8割が肯定的な意見でした。一方で、昨年度より若干否定的な数値が下がりました。



小中一貫教育目標
「共に高め合い未来を創る力を育む学校の創造」



第10号

北村小中学校便り

岩見沢市立北村小中学校 令和7年12月24日発行

「かかわり」を通じて学ぶ

校長 小笠原 寛 和

- 師走を迎え、学校生活も一年のまとめの時期となりました。子どもたちは日々の学習や行事を通して、多くの「かかわり合い」の中で成長しています。友だちとの関わり、教師との関わり、そして家庭や地域の皆さんとの関わり。その一つ一つが、子どもたちの学びと心を豊かに育てています。
- 授業の中では、自分の考えを伝え合い、友だちの意見に耳を傾ける姿が見られます。最初はうまく言葉にできなかった考えも、誰かに聞いてもらい、問い返されることで、少しずつ深まり、広がっていきます。こうした「かかわり」こそが、教科書だけでは得られない学びを生み出しています。
- 12月12日に予定の「もちつき体験」、インフルエンザ等が広がりを見せ、児童や関係者の健康・安全を優先して中止しました。この活動に向け、学校運営協議会等を通じ、たくさんの地域の方が準備などにかかわっていただきました。実施できれば、新たな学びや、さらなる成長の機会になったことと思います。
- 今年も残りわずかとなりました。皆様の温かい支えのおかげで、子どもたちともに充実した日々を過ごすことができました。本当にありがとうございました。今後も子どもたちの様々な「かかわり」を温かく見守り、ともに成長を喜び合っていければ幸いです。どうぞ良いお年をお迎えください。

「充実」と「成長」の冬休みへ

校長 酒 井 誠

明日から25日間の冬休みが始まります。長期休業中は、普段できないことに集中して取り組める貴重な期間です。自分なりの目標を定め、「これを頑張った」と自信を持って言えるような、充実した時間を過ごしてほしいです。特に学習面では、これまでに学んだ内容をしっかりと復習し、後期後半へと繋がる確かな基礎を築いてください。3年生は、入試前の集中学習ができる最後のチャンスです。目標達成に向け、計画的に多くの問題に挑戦してください。最低2時間を目標に学習時間を確保し、集中して「できる」「わかる」を追求すれば大きな効果が得られます。また、冬休みは、生徒の皆さんが自ら考え、行動する力を育む絶好の機会でもあります。お正月などのイベントがありますが、けじめをつけ、自分の心（感情）をコントロールし、良い方向へ導いていってほしいと思います。時間を有効に使い、読書や運動、家のお手いなども大切にしながら、自ら計画を立て、実行する経験を通して、ぜひ一回り大きく成長することを期待しています。保護者の皆様、地域の皆様、本年中のご理解とご支援ありがとうございました。

授業時数特例校制度開始に向けて（中学校）

岩見沢市の小・中・義務教育学校では今年度から授業時数特例校制度の取組を開始しております。本校においては昨年度末、今年度初めに令和8年度からの取組開始について保護者の皆様にお伝えしてまいりました。次年度、以下のとおり本事業を進めていきますのでご確認ください。

【身につけさせたい資質・能力】

・コミュニケーション能力・表現力・発信力 ・学びの土台となる知的好奇心・知的探究心

【次年度の授業時数】

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	特活	総合	道徳
1年	136	102	137	104	44	45	101	70	135	40	66	35
増減	-4	-3	-3	-1	-1	なし	-4	なし	-5	+5	+16	なし
2年	136	102	102	137	35	35	101	70	136	40	86	35
増減	-4	-3	-3	-3	なし	なし	-4	なし	-4	+5	+16	なし
3年	103	136	137	137	35	35	101	35	135	40	86	35
増減	-2	-4	-3	-3	なし	なし	-4	なし	-5	+5	+16	なし

【学習内容】

1 **ピア・サポート(合唱活動)** [特別活動5時間]

ねらい

- ・合唱をとおして表現力、発信力の向上、さらには校舎に声が響く明るい学校風土の醸成
- ・一つのものを作り上げる共通目標を持つ中で、必要なコミュニケーション能力(話し方や聞き方など)を向上させるとともに、異学年との関わり方などを学ぶ
- ・主体的な学習を進める中で、リーダー・フォロワーそれぞれの力を高める

2 **探究活動** [総合的な学習の時間16時間]

ねらい

- ・自らの課題を立て、課題解決に向けて学習に取り組むことで、学ぶことの素晴らしさ(良さ)を実感し、知的好奇心・知的探究心の向上を図る
- ・探究サイクル(課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現)を身につける
- ・学習の土台となる学びに向かう力(姿勢)を身につける

来年度の小中学校行事について（小中学校）

来年度から小・中学校それぞれで実施してまいりました、運動会と体育祭、学習発表会と学校祭を合同開催いたします。過日、学校運営協議会においてご相談させていただき、今月、小学校の全体懇談会でご報告いたしました。中学校においては、この学校だよりでのお知らせが初となります。

このことに関しまして、肯定的なご意見がある一方で、不安や心配などの声もうかがっております。「人数が多くなることで活躍の場が減るのでは」「中学生は楽しめるのか？」などと言った声でした。次年度は、小中学校合わせても100名を割る見込みです。100名未満の学校と考えると、一人あたりの種目・演目数は十分確保できる想定です。これまでは出ずっぱりでしたが、他学年の応援・観覧などができると考えます。「見て」「応援して」という児童・生徒が増えるということは、競技をしている児童・生徒の頑張りにもつながりますし、体力面の負担軽減で安全の確保にもつながると考えます。また、合同開催になっても、児童会・生徒会主体の、自分たちで企画する行事であることに変わりはありません。全ての児童・生徒が楽しめる企画を考えるという形でアップグレードされることになります。来年度からの行事の変化を、子どもや保護者、そして地域にとってさらなる発展につなげられるよう計画してまいります。

参観日にお越しく下さりありがとうございました（小学校）

12月2日と3日の参観日には、多くの方にお越しく下さりありがとうございました。子供たちの学びの様子を見ていただけたでしょうか。発表の様子などを見ていても、どの子も成長が見られたのではないのでしょうか。次回は、2月に行います。今年度最後になりますが、その際もよろしくお願いいたします。5, 6年生は、最初に学習発表会で行った音楽の発表を合同で行いました。その後、学年ごとに別れ、6年生は体育(ミニバレー)、5年生は野菜について調べたことの発表(総合的な学習の時間)を行いました。6年生は親子で試合をする様子も見られ、楽しく運動ができました。5年生は、じゃがいも等野菜作りを通して調べたこと(植え方、栄養素、料理など)を発表し、それらに関わるクイズも出していました。



↑ 5, 6年生発表の様子



↑ 6年体育の様子

3, 4年生は、合同で道徳を、1, 2年生は、合同で体育を見ていただきました。3, 4年生の道徳では、「家族に思いを伝える」が課題です。家族への感謝の気持ちを漢字1文字で表し、それに関わるお手紙を書きました。漢字1文字に思いをこめ、どの子も真剣に書いていました。1, 2年生の体育では、サッカーを行いました。体ほぐしの運動をしてから、ドリブルをしたり、止めたりしてボールを操作しました。どの子もコントロールするのが上手でした。



↑ 5年生の様子



↓ 3, 4年生の様子

1, 2年生の様子



冬の事故に気をつけましょう（小学校）

明日から冬休みになります。クリスマスやお正月など楽しいことが多くある長期のお休みです。子供たちもとても楽しみにしていることと思います。うきうきしている気持ちの時に思わぬ事故が起きやすいです。学校でも指導しますので、ご家庭でも安全面についてのご指導をお願いします。

○冬に関する事故(例)

- ・雪山から走って飛び出したため、ドライバーから見えにくく、車にぶつかりそうになる。
- ・道路でそり遊びをして車にぶつかりそうになる。 など、道路付近での飛び出しに気をつけましょう。道路の近くで遊ばないようにしましょう。

○交通事故(例)

- ・車の陰から道路に飛び出し雪山もあったため走行中の車にぶつかりそうになる。
- ・信号が青になったので横断歩道を渡ったが、車がすべって止まれない。 など、冬ならではの交通事故に気をつけましょう。

○その他(例)

- ・不審者に出会った場合にはすぐにその場を離れ、保護者に知らせましょう。不審者にお子様が出会った場合はまずは保護者から警察にご連絡ください。その後学校にもご一報ください。

◎様々な事故に十分気をつけて過ごしてください。3学期元気に会えることを楽しみにしています。



広がる学び～中3年生は勝負の冬休み（中学校）

本校では、10月以降、性教育や全校道徳、情報モラル教室、薬物乱用防止教室(1年生)、命の教室(2年生)、租税教室(3年生)など多くの方に講師として来校していただき学習を進めてきました。これらの時間は、専門家から本物に触れられる貴重な学びの場となり、普段の授業の中では知ることのできない世界を知り、子どもたちの学びが豊かになりました。自らのキャリアに活かして生活していくことを願っています。

3年生は、早い生徒で、来月から高校入試が始まります。冬休みの取組が結果(合否だけではなく)を大きく左右します。希望する進路を実現し、なりたい自分に近づくため、必要な学習に主体的に取り組むことを期待しています。



↑ 性教育の授業: 見た目以上に「重たい!」と感じていました。



↑ 全校道徳: 多くの生徒が積極的に質問し、大変立派でした!